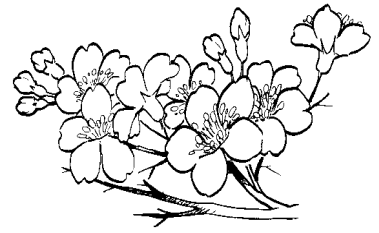


# 進路だより



2026年4月27日  
第4号

## ◇第1回進路希望調査ありがとうございました◇

生徒の皆さん、そして保護者の皆様、第1回進路希望調査への御協力ありがとうございました。今回の進路だよりは、保護者の皆様から寄せられた御質問にお答えしたいと思います。生徒の皆さんが疑問に思っていることと、重なるところがあるかもしれません。ここに取り上げた質問は一部です。紙面の都合もあり、全ての質問にお答えできておりません。何かありましたら、担任の先生を通じて御連絡ください。

・「高校の選び方はどうすればよいですか。」

⇒お子さんが将来目指しているのは、どのようなものでしょうか。高校の先を見据えた進路選択をしていただきたいです。また、お子さんが得意とすることは、反対に苦手とすることはどのようなことでしょうか。お子さんが毎日通う学校です。遠いのか近いのか、カリキュラムの特性はどのようなのか、諸費用はどのくらいかかるでしょうか。いろいろな観点から、お子さんに適した高校を選んでほしいです。

・「自己推薦について知りたいです。」

⇒自己推薦の入試は、北海道の公立高校で数年前から導入されています。それぞれの高校が定めたスクールポリシーに合う生徒が求められます。また、多くの自己推薦では、面接などが実施されます。適性検査を実施する高校もあります。自己推薦を出願する際に、「自己推薦書」を提出するため、受検する本人の強みが何か考えることも必要になってきます。なお、全ての公立高校が自己推薦を行う訳ではありませんので、御注意ください。

・「〇〇高校について知りたいです。」

⇒各校のホームページや、6月に配付予定の「進路のしおり」を始め、各種資料や受験情報誌等をお読みください。また、ぜひ高校の見学会・説明会・（公開されていれば）学校祭などにも、実際に足を運んでいただきたいです。他人がどう思うかよりも、保護者の方やお子さん本人がどう感じるかが、大事だと思います。

・「高校見学の際に、見ておくべきチェックポイントなどあれば、教えていただきたいです。」

⇒高校ごとに、教育方針やカリキュラムの特徴は異なります。ぜひ、高校見学の際は教育方針やカリキュラムの説明をよく聞いていただきたいです。設備面や進路先、在校生の雰囲気も気になるかもしれません。何を大事に考えるかで、チェックポイントは変わってくるかと思えます。御家庭で「これは譲れない！」と大事に思うポイントを考えてみるのも良いと思われます。

・「毎年、何名くらいの生徒が〇〇高校を受験するのでしょうか？ また、合格率は？」

⇒個人情報に関わることの公表は難しいです。どうか御理解ください。

・「頑張ればどの程度までの学校を目指せるか、知りたいです。」

⇒例えば、今よりもひとつ上のランクを目指すためには、何教科の成績を上げる必要があるでしょうか。成績のランクが高いほど、当日取る必要がある点数は低くなります。ランクの計算方法は、

次の進路だよりで詳しくお知らせする予定です。同じランクでも、上のランクに近いか、下のランクに近いかで違います。まずは、お子さんの現状を確認してほしいです。

・「進路の最終決定の時期は、いつですか？」

⇒基本的には、11月中旬の「第5回進路希望調査」で最終決定をしていただき、12月の三者懇談で最後の「意思確認」をする流れになります。進路希望調査は全部で5回ありますので、進路希望調査の度にぜひ保護者の方とお子さんが話し合い、お互いの意思疎通を図っていただきたいです。

・「学校説明会や学校祭の日程を知りたいです。」

⇒高校からお知らせが来次第、高校からのチラシや（場合によっては）進路だよりなどで、お知らせします。学校を通さずに、個人で申し込みするものが増えてきていますので、ぜひお子さんが持ち帰る配付物に御注目ください。また、高校によってはホームページから申し込むものもありますので、興味がある学校についてはホームページのチェックもお願いいたします。

・「各高校の卒業後の進路や、学校の様子、受験や入学の費用などを知りたいです。」

⇒ぜひ、学校説明会に参加してください。また、その高校のホームページを御覧いただき、資料が取り寄せられるものは資料請求してください。「進路のしおり」も読んでいただきたいです。

・「学力ABCのテスト以外に、任意の模擬テストを受けるべきでしょうか？」

⇒御家庭の考え方によると思います。受けるものが多い分、予習復習の負担も大きくなりますが、それをバネに奮起できるならば良い刺激になるかもしれません。また、業者の模擬テストでは順位等が明確になるので、自分の位置を明確にしたい人には良いかもしれません。ただし、あちこち手をつけることで、プレッシャーになるようならば、逆効果になるかもしれません。保護者の方とお子さんで、よく御相談ください。

・「受験までの流れがよくわかりません。」

⇒どの学校をどのような時期に受けるかによって、お答えすべきことは変わってくるのではないのでしょうか。進路だよりや進路説明会でも御説明していきますので、まずはどのような進路を目指すのかをお子さんと話し合ってくださいと思います。

・「現在の学校が昔とどのくらい違っているのか。どのようなことが大切で必要となってくるのか。」

⇒高校の求める成績が大きく変化している高校もあります。また、コースが新設されたり、古いコースが廃止されたりもあります。ぜひ希望する学校の学校説明会に足を運んでください。「百聞は一見に如かず」と申します。実際に目にすることでしか、感じられないこともあると思います。今の新しい情報を、常に追い求める姿勢も大切なのではないかと思います。

・「高校無償化が始まって、各高校の動きの変化はあったのか。」

⇒私立高校の授業料が無償化されたため、例年よりも私立高校を選ぶ人が増えている印象を受けました。ただ、無償化されるのは授業料のみですので、制服代をはじめとした諸経費が他にかかります。

・「欠席日数が心配です。」

⇒一般的に欠席日数は各学年7日以上では多いと思われます。正当な理由のある欠席については、例えば、入院であったり持病があったりする場合は、高校側も配慮してくれることが多いです。ただし、学校によっては、「受験資格」の中に欠席日数が書かれている高校もあります。逆に通信制の高校では、欠席日数を気にしないことが多いです。まずは、希望する学校の情報を入手していただきたいと思います。